

花の苑タイムズ

推進「地域交流」に 交流イベント・交流作品展を開催



ピアノを奏でるクラシック音楽のグループ。日頃は県内全域を対象に毎月福祉施設などを慰問演奏されています。今回はモーツァルトのピアノ四重奏曲第二番第一楽章などを演奏しました。

「交流イベント開催」
六年度の交流イベントは、今回初めてお迎えした三組のボランティアグループの他、歌声カフェ（歌謡ショー）、たかばやし民謡教室という多彩な組み合わせで実施することができました。



クラシック曲を演奏
三組のボランティアグループのうち「高崎室内楽の会」は、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、

平成29年7月10日発行
第34号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

演奏されたほか、「青い山脈」「ここに幸あり」など皆で演奏に合わせて歌いました。

この他、グループアザレアは、音楽療法に基づいた音楽教室を開き、キーボードと大正琴の伴奏でたくさんの方の馴染みの歌を元気に歌いました。爆笑会は、ラフターヨガとハーマニカ演奏を披露してくれました。

地域交流作品展

一号館二階のフリースペースで開催中の作品展は、六年度は新高尾公民館・はがき絵の会による「水彩画展」を開催、ご利用者をはじめ地域の皆様にもご覧いただき好評を博しました。

これは峠の釜めしの陶器の蓋をキャンパスに、水彩絵の具を使って風景や動物などを描いたもので、松井田町の妙義山麓美術館に展示された作品

です。講師の岡田秀子様とメンバー九人による二十五点の作品を展示しました。また同作品展は、六月二十四日付け上毛新聞にも紹介されました。

現在常設展示コーナーでは、浜尻公民館・お絵描き教室の皆様による水彩画八点の他、切り絵作品（飯島実様）二点、堀澤秀様「四季の写真集」を展示しています。

地域の皆様にもぜひご覧いただきたく、お気軽にご来場ください。



浜尻公民館お絵描き

新高尾公民館はがき絵の会

「いきいきサロン」 上日高地区

上日高いきいきサロンが七月十二日、上日高公民館で認知症予防の脳トレ体操や歌などを交え賑やかに開催されました。今回は八月九日実施予定。



「長寿センター訪問」

高崎市のマスコットキャラクター「タカポン」の塗り絵展示会が中川長寿センターで開かれ、当施設ご利用者五名の方が作品を応募しました。このうち、Aユニットの菊池様が、かつてセンター



をよく利用されていたこともあって代表で見学訪問（写真）されました。

地域掲示板
地域リハビリ広域支援センター（日高病院）の研修会が七月二十三日の日曜日、日高病院（六階大会議室）で実施されました。テーマは「今日から役立つ！膝関節痛、腰痛についての予防と対策」時間は十時から十一時半まで。講師は日高病院回復期リハビリ室石原和理学療法士。入場は無料。

施設見学で来苑

高崎健大（薬学部）学生

高崎健康福祉大学・薬学部の学生（二学年）九十二名がこのほど、高崎花の苑に施設見学のため訪れました。

同大学薬学部では、本年度二年生に対し「医薬品情報学（薬学と社会）」を開講するに伴い、講義の中で社会における薬剤師の役割について学ぶとしており、今回の見学は地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割を考えることを目的に実施したものです。



施設内を廻り、利用者の生活支援の内容や薬の管理方法など熱心にメモを取りながら説明に聞き入っていました。

峠道



「不易なもの」 次の世代へ

蜜しくも油が買えず、蜜を集めてその光で書を読み、雪の明かりで勉強したという故事、つまり「蜜雪」は、とうの昔に死語となっていました。この科学文明の時代に、なにも蜜や雪に頼る必要はないが、蜜の底を流れる苦勞して学ぶ姿勢は、人間の進歩向上にとって時代を超越した不易のもの

時代を超越した価値

しかし、今、言語としての蜜雪だけならまだしも、その理念までもが捨て去られ、消え失せようとしていることに大きな危惧の念を禁じ得ない。

最近では、人間の進歩向上を支える基本的な要件でもある「継続」という言葉も、その実態を失いかけています。かつては「継続は力なり」と継続と力を同価値にとらえて継続の意味を説き、ひとつの事を継続できる根拠強い人間を育てる努力をしてきた。

すこやか生活日記

厳しい暑さが続いています。日差しも強く、帽子や日傘など紫外線対策も必要ですね。

紫外線は避けたいものですが、私たちの体にとってなくてはならないものでもありません。それはビタミンDの生成です。ビタミンDの元となる物質が紫外線を受けることでビタミンDがつくられます。

元となる物質は食品または人の皮膚に存在しますが、人にとっての大きな供給源は皮膚からつくられるのです。

ビタミンDはカルシウムの代謝に関わっていて、腸管のカルシウムの吸収を促進します。

もちろん、強い紫外線

雑感手帖



蒸し暑い日が続くせいか疲労も溜まりやすく、家に帰ると食事や風呂より先に「とりあえず、だらりとしたい」と思ってしまう私がなければならぬこと、それは「応援」のような気がしたのです。

実は最近、私は少し遠くから見ている職員がおりまして、何気に頑張っているのです。スポーツの場面になると、決まってカメラで抜かれて応援する様子が映されます。しかし、私は今回黙って心の中で応援しています。本人に姿に意識をさせたり、横やりで集中を乱したくないからです。

心の中の神様みたいな人にならうと日々頑張っています。サーファーガソンに似た、まるで信用

「三号館に切り絵作品」

（施設長）

三号館二階・介護員室前の廊下にこのほど、切り絵の絵画四点が展示されました。これは切り絵作家の飯島実さんが提供してくれましたので、ヒマワリや彼岸花の花の作品の他、五重塔、金閣寺を描いた切り絵作品です。

切り絵ならではのきめ細かさや鮮やかな色調の作品で、ご利用者や面会に来られる皆様の目を楽しませていく予定です。



施設見学は二班に分かれ二日間にわたって行われ、最初にプロジェクトリーダーを使って当施設の概要や役割など学びました。その後、職員案内で施設

やるベンチャーウィーク(中尾中) 職場体験感想文が届く

前号で紹介した高崎市やるベンチャーウィークでの職場体験で、高崎市の苑が受け入れた中尾中学校生徒(二年生)五名の感想文などが綴られたやるベンチャー報告書がこのほど中尾中学校から届きました。

社会に役立つ仕事

報告書には、五名がそれぞれ体験した仕事の内容と施設の様子などとともに、職業としての介護士の仕事について「社会に役立つとても大事な仕事と感じた」などの感想文が書かれていました。



「ここでは、生徒の感想文をそのまま紹介し、介護業界の将来的課題である。また、利用者さんからは色々な話をしても良かったり、一緒に新聞紙やチラシを折ったりしました。ここでしかできないような体験をたくさんできました。本当にありがとうございました。」(二年 H君)



「やるベンチャーでは、お忙しい中、貴重な時間を体験させていただき大変ありがとうございます。この五日間の体験では、仕事の楽しさや、やりがいを感じていただきました。職場では利用者さんへの接し方を学びました。また、利用者さんからは色々な話をしても良かったり、一緒に新聞紙やチラシを折ったりしました。ここでしかできないような体験をたくさんできました。本当にありがとうございました。」(二年 H君)

「私は花の苑で仕事を介護士の存在はともて



かしていききたいです。そして、将来立派な職業につけるよう頑張りたいです。一週間、本当にありがとうございました。」(二年 Sさん)

「五日間という短い間でしたが、大変お世話になりました。この体験をさせていただくまで、すごく大変な仕事だという思いが強かったのですが、直接介護という仕事に触れてみると、大変な場面もありながらも、どんな仕事よりもやりがいを感じるこのことできる、すごく良い仕事だということが分かりました。また、この体験を通して、人とコミュニケーションシヨウカが大切だと言うことを学ぶことができました。この経験をこれからの学校生活にいかしていきたいと思えます。お忙しいなか、貴重な時間をありがとうございました。」(二年 Mさん)

か、貴重な体験をさせていただけありがとうございます。ありがとうございました。」(二年 Mさん)



「ここは前橋市かい?良

ユニットたより

「ラーメン人気が圧倒」

六月のユニット行事では以前好評だった「ラーメンを食べよう会」を行いました。会と言うほどの行事ではないのですが、ついラーメンというところが不思議に力が入り、盛り上がりつつあるのはなぜでしょうか。

とは言うものの、ラーメンが苦手と言う方向けに、今回はどうも用意しましたが、参加いただいた利用者様十五名の中で十四名がラーメンを希望されました。やはり皆さん、ラーメンには、ある種特別な思い入れがあるようです。



「かき氷づくり」夏のシーズンを迎え、先日ユニット行事で「かき氷づくり」のイベントを行いました。道具の手配や当日の段取りを各職員に割り振り、特に衛生面の配慮を怠ることなく当日を迎えました。当日は気温も高く、かき氷づくりに合わせてこの日となり、担当職員も張り切って臨みました。



「利用者様の目の前で水を砕く作業を行っている、利用者様の中には昔懐かしい光景を思い出されるように眺めておられました。おもえば、かき氷は庶民の夏の風物詩です。そして、砕いた水を器に盛り、シロップを掛けてお出しすると「冷たくてとてもおいしい!」「おかわりしたいの?」などという声もあり大変好評でした。これからも、B・Cユニットとして利用者様の要望に応え、いろんなイベントを企画したいと思います。」(B・Cユニット N)

「シヨッピング」

梅雨に入ってから毎日不安定な天候が続いています。その中先日、比較的安定した日を選び買い物ツアーを計画、高崎イ

「ご利用者の目の前で水を砕く作業を行っている、利用者様の中には昔懐かしい光景を思い出されるように眺めておられました。おもえば、かき氷は庶民の夏の風物詩です。そして、砕いた水を器に盛り、シロップを掛けてお出しすると「冷たくてとてもおいしい!」「おかわりしたいの?」などという声もあり大変好評でした。これからも、B・Cユニットとして利用者様の要望に応え、いろんなイベントを企画したいと思います。」(B・Cユニット N)

オンに出掛けました。今回参加されたのはEユニット・坂本ミエ子様とFユニット・高橋在枝様。お出掛け前のひととき、期待に少し胸を膨らませながら「孫の手を買ってきたい」とか「肌着が欲しい」とか話しておりました。

「夕やみに、浮くかの様子、白い花、明日の朝まで、夕顔の旅」(秀峰)

編集後記

★アウトドアの夏が到来し、所有のバイクもエンジン快調です。ツーリング当日、狙ったかのように雨が降るのが残念ですが、(N)★E・Fユニットで今回、市郊外にあるシヨッピングモールへ買い物ツアーを実施。何事も計画と実行!このわくわく感が大事と痛感しました。(S)★七月と言えは七夕。ここぞとばかりに願い事を考えますが、まずは健康第一と、年齢的に(T)★このところ他のユニットへ支援の機会があり、仕事に少し幅が出来たように感じます。又、毎日充実感があり、とても楽しいです。(K)★気が付けば、毎日のように「今日は暑いですよ」と利用者様に声をかけています。皆さんも夏バテにご注意を(S)★今回三十四号は四ページ建ての夏号を発行しました。今後、花の苑タイムスは季節に合わせ、年四回の特集号(四ページ建て)を発行します(N)

季節折々の歌

- 猿の尻、いつから赤い古くから、滑り転んでサルスベリの木 (須永 清様)
- 文の月、暑中お見舞い五通ほど、われ持つ筆は、先に進まじ
- 夕やみに、浮くかの様子、白い花、明日の朝まで、夕顔の旅 (秀峰)